



## 春の叙勲

本村から野水さん

春の叙勲で本村から、野水さんが栄誉に浴されました。

△勲六等瑞宝章

消防功労

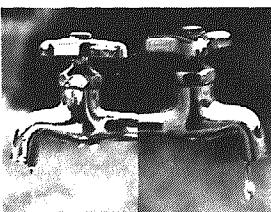
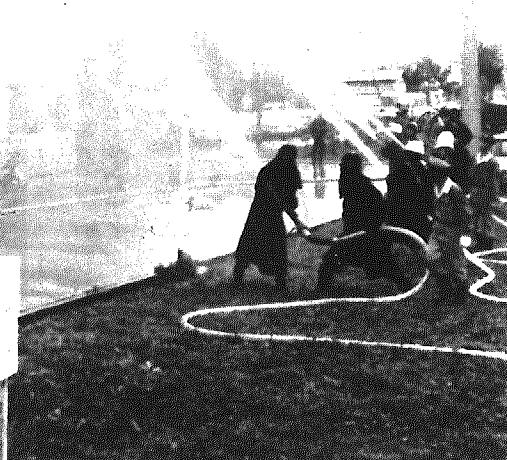
野水 利作（高畠）

## 水を大切に

6月1日～7日 水道週間

水の大切さ  
は、いまさら  
うまであります。  
水道の水が止まつ  
た、暮らしの生活は即座  
にマヒします。  
その半面、わたしたちは  
水道の便利さに慣れて、や  
もすると、ふだんは水の  
生とります。  
なさいます。  
水道で、学校で、家で、  
病院で、工場で、どこで立ち往  
かせん。もし、水道の水が止まつ  
たら、暮らしの生活は即座にマヒしま  
す。

こんなムダが…

糸状の水 ポタポタ水  
1時間で 1時間で  
約8リットル 約1リットル岩室村消防定期総合演習  
6月17日 和納小学校グラウンド

恒例の岩室村消防定期総合演習が6月17日(日)に和納小学校グラウンドにおいて開催されます。

これは、火災予防思想の

高揚と防火心の喚起を目的的

に実施されるもので、団員によるポンプ操作など、諸

訓練を通して、消防技術の

向上と士気を高めることも

この演習のねらいの一つと

なっています。

当日は、午前7時の招集

信号を合図に和納小学校グ

ラウンドに集合、8時30分

から、開催されます。

各分団、常備消防による

機械器具点検、通常点検、

ポンプ操作法訓練、表彰式、

分列行進の順に行われ、十

時30分から、火災を想定し、消防ポンプ車、救急車、軽可搬消防ポンプなどの仮装訓練を行います。

近代消防力を結集して

の協力をお願いします。

(消防岩室分署)

ので火災とまちがえないよ

うご協力をお願いします。

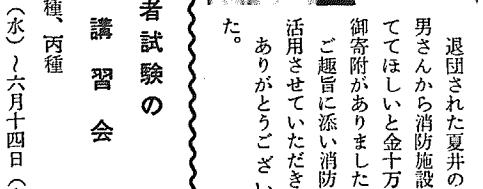
(消防岩室分署)

打いたします。

消防施設のため  
危険物取扱者試験の  
準備講習会  
金十万円を寄附



消防施設のため  
危険物取扱者試験の  
準備講習会  
金十万円を寄附



紹介します  
新採用職員  
岩室村が公募しております  
した、職員採用について五  
月十五日採用試験を行い、  
次の十一人が六月一日付を  
もって採用発令されました  
△事務職員▽

中澤佳代子	和田久美江	本間尚美	松本一美	斎藤仁	田中静枝	池上ひとみ
(和納第二保育園)	(中央保育園)	(間瀬保育園)	(農政課・国土調査室)	(農政課・国土調査室)	(住民福祉課)	(和納第二保育園)
園	園	園	園	園	園	園
園	園	園	園	園	園	園
園	園	園	園	園	園	園

新潟県男子警察官A(大学卒)  
の昭和54年、55年採用試験が  
あります

受付期間 6月18日～7月23日  
第一次試験 7月29日

## 農村総合整備モデル事業

## 本年度は総合整備計画を策定

農村総合整備計画  
農村総合整備モデル事業

## 第1年次(S54)

農村総合整備計画 → 国土庁主管

- 農村の現状と動向の調査分析  
集落、土地利用、生活環境、産業、人口、社会組織、外
- 農村整備の基本方向(10年後の将来像)  
生活環境整備の構想  
産業振興の構想  
社会組織と地域運営の構想  
住民の意向調査、関係者との意見交換、部落座談会、国土保全、自然保護、県の指導助言
- 整備計画の策定

## 第2年次(S55)

農村総合整備モデル事業 → 農林水産省主管

- 農村総合整備計画書に基づき、集落整備診断カード作成
- 集落毎の基本構想事業量の算定
- 地域全体の基本構想事業量の算定 ← チェック
- 基本構想事業費(標準事業費との対比)
- 集落毎の実施事業量の調整
- 地域全体の実施事業量の算定 ← チェック
- 実施事業量、事業費の確定
- 事業実施計画の策定

## 計画基礎調査

- 水源調査
- 水質調査
- CBR試験、道路測量
- 地質調査
- 排水調査
- 農用地開発調査

## 第3年次(S56以降)

事業実施 → 農林水産省主管

- 実施計画に基づいておおむね7ヶ年で事業実施  
(全体事業費13～15億円)

農村総合整備計画は、当該市町村における農業振興地域全体を対象として計画を策定するが、モデル事業の実施に際しては、農業振興地域全域を対象とするとは限らず自然的、社会的、経済的諸条件を勘案して実施地区を選定する。

農村総合整備モデル事業を実施するには、「農村総合整備計画」を策定し、国土庁より選定を受けることになります。岩室村では五十二年度よりこの選定を受けるべく申請しておりましたが、二年目にかけてようやく「農村総合整備計画作成市町村」として選定されました。整備計画の内容は、農村地域の経済と社会・農村地域居住者の農業生産基盤と農村環境基盤、及び農村環境施設を一体的に整備の計画対象とする総合的な整備計画であり、この計画策定には約一年程度の時間を必要となります。

尚「農村総合整備計画」策定にあたり、「アンケート調査」の依頼、「部落座談会」等で直接又は間接的に村民の皆様方より意見や意向をお聞きさせ願うことがありますのでよろしくお願い致します。